



神明中だより

<http://www.suginami-school.ed.jp/shinmeichu/>

教育目標 創造・鍛錬・共生 校訓 自主・自律

令和5年6月27日

6月号

杉並区立神明中学校

杉並区南荻窪2-37-28

失敗から学ぶ

校長 山内 清一

6月3日（土）に予定されていた体育大会は雨天のため、6日（火）に開催されました。校舎建て替え前の今の校庭で行う最後の体育大会でした。当日は、数多くの保護者、地域の皆様にご来校いただき、生徒への熱い声援をいただきました。ありがとうございました。

限られた期間での練習でしたが、「最後の舞台で最高の思い出を」のテーマのもと生徒達は自分達の手で体育大会を創り上げようと精一杯、練習、競技、係活動に取り組みました。競技に参加する時も、仲間を応援する時も、クラス、学年の垣根を越えて声援する姿がありました。特に、3年生は、今年も下級生の良き見本となる素晴らしい結果を残してくれました。そして、たくさんの笑顔を見ることができたことが、もう一つの収穫だったと思います。最後の舞台（建て替え前の校庭での最後の体育大会）にふさわしく「中学生らしく輝いている姿」を見ることができた体育大会でした。

さて、5・6月は「いのちの教育」月間です。本校では、道徳の授業を中心に「いのちの教育」に取り組んでいます。校長としても、全校朝会で「失敗から学ぶ」という話をしました。石川県金沢市にある星稜高校を卒業した松井秀喜氏についての話です。松井氏は日本のプロ野球やアメリカメジャーリーグで活躍しました。著書「不動心」の中で、自分を育てた次の言葉を紹介しています。（下の左□の中）

心が変われば行動が変わる
行動が変われば習慣が変わる
習慣が変われば人格が変わる
人格が変われば運命が変わる

悔しさはあえて口に出さない
7割の失敗と上手に付き合う
自分から可能性を捨てない
努力することは才能である 等

星稜高校時代に指導を受けた山下智茂監督から聞き、その後も自分を育てた言葉として、この言葉に励まされながら努力を続けることができました。山下監督によって星稜高校野球部練習場の一塁側ベンチや室内練習場に掲示されました。

自分の気持ちが変わるとそれが行動に表れるということであり、行動が変わらないということは気持ちも変わっていないということです。一度も失敗せずに生きていける人はいないと思います。失敗してしまった時に、二度と同じようなことを繰り返さないことが大切です。気持ちでは反省しても、その人のその後の行動を見ていて変化を感じられなければ、やっぱり反省していないかったのだと判断されます。

左手首骨折という選手生命を脅かす大ケガから復活した松井選手は、「マイナスをプラスに変える心構え」として次のことも語っています。（上の右□の中）

プロ野球のバッターは、打率3割打てば一流です。言い方を変えれば一流選手でも7割は打ち取られているということになります。社会では成功率3割では仕事は成り立ちませんが、それほど野球は失敗のスポーツだといえます。松井選手は初めに紹介した著書の中でこう書いています。「・・・僕は、生きる力とは、成功を続ける力ではなく、失敗や困難を乗り越える力だと考えます。・・・」

小学校の頃からの自分を振り返ってみてください。今まで軽率な気持ちから人をからかったり、冷やしたりするような言動をとったことはないでしょうか。結果を考えないで軽はずみな行動で失敗したことはないでしょうか。これまでの生活で、自分自身に反省すべき点があった人は、松井氏が監督から学んだ「心が変われば行動が変わる」という言葉の通り、失敗から学び、思いやりのある行動をとれるようになるはずです。野球に限らず、失敗とのつきあいが上手にできる人になってください。結果も大切ですが、それ以上に結果に至る過程が大切です。

【6月のアルバム】

《体育大会》 6月6日（火）



開会式



選手宣誓



準備体操



タイフーン



1年生全員リレー



2年生スウェーデンムカデ



3年生全員リレー



大縄跳び



部活対抗リレー



チーム校長先生



色別対抗綱引き



1年生いかだ流し



3年生大ムカデ



学級対抗リレー



閉会式での表彰

《高井戸第四小学校訪問》 6月22日（木）



生徒会による学校紹介とレクレーションの様子

【7月の主な予定】

7／ 1（土） 土曜授業・学校公開
4（火） 2年校外学習
5（水）～7（金） 3年修学旅行

14（金） 全校保護者会
20（木） 終業式
21（金）～27（木） 三者面談・夏季質問教室

